

# 1 地域ケア会議全体像

会議	地域ケア個別会議	地域ケア課題整理会議	地域ケア推進会議
機能	高齢者の自立支援や重度化防止について様々な専門職と一緒に検討します。個別のケース検討を通じ地域の課題を把握することも期待されます。	地域ケア個別会議で把握された地域の課題について整理します。課題を解決するために既存のサービスや資源の有効活用や、新たな資源の開発等について検討します。	地域ケア課題整理会議で検討した結果、新たな事業化や施策化を行う必要がある場合に検討を進め、介護保険事業計画等に位置づけるなど政策へ結び付けます。
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター職員</li> <li>・アドバイザー（医師・歯科医師・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士）</li> <li>・民生委員</li> <li>・生活支援コーディネーター（第1層）</li> <li>・本庄市担当課職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター職員</li> <li>・生活支援コーディネーター（第1層・第2層）</li> <li>・第2層協議体</li> <li>・課題整理会議の検討に必要な専門職</li> <li>・本庄市担当職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター運営協議会委員</li> <li>・地域包括支援センター職員</li> <li>・本庄市担当課職員</li> </ul>
開催頻度	各圏域ごとに4月～12月まで毎月1回	各圏域ごとに年1回	市全体で年1回
主催	地域包括支援センター	地域包括支援センター	市

## 2 令和2年度地域ケア個別会議の実施報告

	回数	事例数
西	6	12
東	7	13
南	5	10
児玉	6	12
合計	24	47

## 3 令和2年度地域ケア課題整理会議の実施報告

地域ケア個別会議の検討から地域の課題を把握しました。

	地域の課題
西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地域の見守り】</li> <li>・【集いの場】(本人)</li> <li>・【生きがいづくり】</li> <li>・【認知症】</li> <li>・【避難行動要支援者避難支援制度】</li> </ul>
東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【集いの場・外出する場について】</li> <li>・【外出支援について】</li> <li>・【ボランティアについて】</li> </ul>
南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地域とのつながり・交流について】</li> <li>・【地域の担い手について】</li> <li>・【移動手段について】</li> </ul>
児玉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【地域とのつながり】</li> <li>・【認知症・若年性認知症の支援】</li> <li>・【食事・栄養管理】</li> </ul>

## 4 令和2年度地域ケア推進会議の実施報告

地域ケア課題整理会議で把握された8つの課題についての主な対応・取組については以下のとおりです

課 題	主な対応・取組
【地域の見守り・地域とのつながり・交流】	・はにとれDVDやCDなどの貸出を今後も行ってまいります。
【集いの場・外出する場について】	・サロンが立ち上がらない地域についてははにとれリーダー研修を活用したり、地域に向けた啓発を行うなど、市と社協が協力して、立ち上げ支援の検討をします。
【生きがいづくり】	・特技を活かしたいと思っている高齢者の情報を関係者で情報共有することについて検討します。 ・近所の数人で集まって交流したり、散歩や清掃などを通じて交流するなど、新しい形でのサロンの取り組みについて検討します。
【認知症・若年性認知症の支援】	・認知症にやさしい地域づくりに向けた周知・啓発に取り組みます。 ・認知症高齢者がサロン等に参加しやすくなるような環境づくりや役割を持って活動できる工夫など、認知症高齢者の活躍の場等を作っていけるよう、地域や関連機関への啓発を検討します。 ・認知症の人本人や家族の意向を重視した取組を推進員と共に推進していきます。
【避難行動要支援者避難支援制度】	・関係課へ情報提供させていただきました。
【外出支援・移動手段について】	・移動手段に乏しい高齢者に対してタクシーチケットを配布することについて検討をします。 ・総合事業の取り組みの中で(要支援相当者に対する)移送支援の検討をします。
【地域の担い手・ボランティアについて】	・社会福祉協議会のボランティア講座や生活支援サポーター養成講座に付き添い支援のメニューを加えた開催と活動の場について検討します。
【食事・栄養管理】	・関係課へ情報提供させていただきました。

◎下記の内容については、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画へ提言します。

課 題	内 容
【地域の見守り・地域とのつながり・交流】	・高齢者の様々な相談窓口について周知をしてください。 ・サロン開催のためのコロナ対策費の支給の検討をしてください。 ・新しいサロンの取り組みについて支援してください。
【集いの場・外出する場について】	・感染予防対策をして、安全に交流の機会(サロン等)が持てる方法の周知や案内をする支援をしてください。 ・感染対策を講じたサロン再開のための会場の環境整備のための支援をしてください。
【認知症・若年性認知症の支援】	・認知症高齢者がサロン等に参加しやすくなるような環境づくりや役割を持って活動できる工夫など認知症高齢者の活躍の場等を作っていけるよう、地域や関連機関に啓発してください。
【地域の担い手・ボランティアについて】	・支援サービスやサロン等の情報発信を多様化してください。

5 令和元年度末に実施した課題整理会議で挙げられた課題に対しての令和2年度における地域包括支援センター及び生活支援協議体の活動報告について

	包括名	地域課題	課題に対する活動(包括及び協議体)
	本庄西地域包括支援センター	<p>【住環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修や福祉用具の事業所を周知する。</li> <li>・福祉用具や住宅改修の展示の機会を検討する。</li> <li>・福祉用具や住宅改修を適切に利用できるような提案を行う。</li> </ul> <p>【生活(移動)支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はにぼん号の利用方法等の周知。</li> </ul> <p>【見守り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師会と協力し、薬局に地域包括支援センターのパンフレットを置き、高齢者へ渡してもらう。</li> </ul> <p>【集いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張サロンの立上げ支援。</li> <li>・社会福祉協議会でイベント(男性の料理教室等)を開催する。</li> </ul> <p>【ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア事業等の把握。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の高齢者施設と共催し、福祉用具展示・相談会を開催した。</li> <li>・介護者を対象に、福祉用具の活用法を開催し、各種メーカーに来ていただき、使用方法や活用方法を知っていただいた。</li> <li>・包括だより(R3.3月号)で、はにぼん号の周知を行った。</li> <li>・圏域内のドラッグストアに包括だよりを配置してもらい、地域包括支援センターの周知を行った。</li> <li>・まごころサポート(第2層生活支援体制整備協議体から生まれた事業)で、出前サロンを実施。</li> <li>・介護者教室として、男性介護者向けの料理教室を開催した。</li> <li>・生活支援サポータースキルアップ講座に協力し、ボランティアの育成や情報共有を行った。</li> <li>・出前サロンの活動地域を市内全域とし、社協ボランティアセンターへの登録を行った。等</li> </ul>
包括別	本庄東地域包括支援センター	<p>【集いの場・外出する場所について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅酸素使用患者の集いの会があると良い。</li> <li>・会場(公民館等の施設)への手すりの設置や段差の解消。</li> </ul> <p>【外出支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はにぼん号の停留所を増やす。</li> <li>・公共機関や低価格で外出しやすい交通機関が少ない。</li> </ul> <p>【ボランティアについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別にボランティアを気軽に募集できる方法がない。</li> <li>・傾聴ボランティアが少ない。利用までに時間がかかる。</li> </ul> <p>【生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢で転居してきた方への支援体制。</li> </ul> <p>【認知症】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の認知症に対する理解が乏しく、相談機関や集いの場の周知が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内を中心に県内外の病院にも問合せ、在宅酸素を含めた難病等の当事者会、家族会の情報一覧表を作成。各種会議でケアマネジャー等に情報提供や相談業務で住民への周知を行った。</li> <li>・公民館を中心に問い合わせ、男性参加者のいる地域活動をまとめ、各種会議でケアマネジャー等に情報提供を行った他、相談業務で住民への周知も行った。等</li> <li>・市へ提言し、担当課へ検討していただくよう依頼。</li> <li>・デイサービスの空き車両を利用した移送支援を検討中。</li> <li>・社会福祉協議会へ提言した。</li> <li>・地域情報として買い物情報をまとめ、「本庄東地域買物便利ガイド」を作成し、住民向けに配布した。</li> <li>・東地域で小中学校や地域住民向けの認知症サポーター養成講座や本庄東公民館・仁手公民館にてオレンジカフェを開催。</li> <li>・市・包括との共催で認知症サポーターステップアップ講座やキャラバンメイトの育成、認知症家族の会を開催。各取り組みについては、チラシ作成や広報・包括だよりに掲載し、住民への周知を図った。</li> </ul>

	包括名	地域課題	課題に対する活動(包括及び協議体)
包括別	本庄東地域包括支援センター	<b>【介護保険】</b> ・介護保険サービス卒業の不安軽減の支援	・公民館活動、サロン、男性の集いの場をまとめ、ケアマネや地域住民へ紹介した。その他、高齢者向けジムや配食サービス、はにぼん号等移動手段を適宜紹介した。
		<b>【その他】</b> ・8050問題の対応が難しい。	・必要時に関係各課との連携を図った。
	本庄南地域包括支援センター	<b>【支え合いの支援について】</b> ・民生委員や自治会との連携。 ・地域での助け合いの周知。	・民生委員定例会に出席し、話し合いの場を設けている。 ※民生員定例会は基本毎月開催であるが、令和2年度はコロナの影響で毎月の開催が出来なかった。 ・北泉地区の自治会長研修会に参加する場を設けている。 ・地域住民の困りごとやニーズを把握し、地域の取り組みへと繋げていけるよう、話し合いの場にて意見交換する機会を設けている。
		<b>【移動支援について】</b> ・はにぼん号の周知。 ・社会福祉法人等の「事業」としての移動支援を進める。 ・社会福祉法人の車利用の活用を検討する。	・総合相談、介護予防ケアマネジメント等の際に移動手段として提案している。また、利用者の声を聞き、未利用者へ伝えている。 ・一部地域限定だが、移動支援事業を実施し、住民の移動手段に関する課題の解決に取り組み、実施していない地域についても今後同様の事業を立ち上げられるよう話し合いを行っている。また、協議体での話し合いにて移動支援に関する情報交換を行っている。
		<b>【生活の支援について】</b> ・見守り対象としての随時訪問。 ・相談時に社会福祉協議会の有償家事、民生委員の配食、サービス等の情報提供。 ・子ども食堂等で学童での一緒に食事の検討。 ・調理場がある社会福祉法人や病院などの活用により地域ごとの配食サービスの検討。	・地域ケア会議では専門職に助言を頂き、ケアマネジャーの質の向上に努めている。 ・見守り対象者は定期訪問をしている。 ・日常生活に困りごとがある住民を把握できるよう、協議体メンバーを始め、自治会や民協等の関係者へ協力を呼び掛けている。
	児玉地域包括支援センター	<b>【移動・健康増進】</b> ・現在実施されている出前講座・各種養成講座等の周知。 ・はにぼんチャレンジの周知。	・セルディでははにとれ教室やオレンジカフェ、ウェルカフェの際に一般介護予防事業、はにぼんチャレンジについて周知、参加を呼びかけ行った。
<b>【多問題家族】</b> ・地域包括支援センターの周知。 ・児玉版便利ガイドの周知。 ・介護支援専門員やサービス事業所等との連携の強化。		・民生委員の会議への出席や、年3回の包括だよりの作成により、包括の周知に取り組んでいる。 ・第2層協議体で作成した、児玉版便利ガイドを民生委員の協力を得て、見守り対象者等に配布。その後好評につき増刷となった。 ・児玉地域の介護サービス事業所の職員との交流会を実施。	